

企業行動研究部会（#336）議事録

日 時：2024年 9月9日（月） 18：00～20：00

場 所：リモート会議

参加者：（16名）

●事務局連絡

- 学会退会者は、年会費の請求時に退会されるかが目立つ。一年分の年会費をお支払いいただき退会されることが望ましい。
- 松尾 實会員より退会したい旨の連絡がありました（本年度末において退会予定）

●研究発表

テーマ：「社外取締役の機能発揮に向けた一考察」

発 表： 勝田和行 部会員

峰内部会員からの資料説明「赤いジュリアス・シーザー？」～何ともよく分からないアメリカという国～

要 旨

わが国上場企業のガバナンスについては、経産省等から「社外取締役の活用の在り方」について、ガイドラインや提言が公表されている。本稿では、社外取締役選任の現状と政府、諸団体の意見・提言を概観するとともに、社外取締役の機能発揮に向け、下記の論点について考察し、筆者の私見を含めて論述した。

- （1）社外取締役の監督、モニタリング機能
 - （2）社外取締役の発言、行動とそれを支える社内体制づくり
 - （3）社外取締役向け研修・トレーニングの活用と相互研鑽
 - （4）企業不祥事の未然防止、発生時の対応
 - （5）取締役の選解任への関与
 - （6）内部通報制度の充実、労働組合・ミドル層の役割発揮
 - （7）「経営者の規律づけ」、経営倫理の視点
- 社外取締役が機能発揮するためには、スキルマトリックスの観点は勿論、社内取締役、経営幹部や他の社外取締役との人間関係づくりを通じて、「経営者の規律づけ」ができる人物を選任することが重要である。
 - また、社外取締役が、社内外の情報収集をすることをサポートする体制づくりを行い、社外取締役と各層の人材との接点を通じて、社内の経営幹部の人材育成だけでなく、将来の社内・社外取締役候補者の育成にもつながるよう期待したい。

○意見交換・質疑応答（抜粋）

- 経営者の監視と社外取締役の役割に関して。経営者の監視と取締役会の役割について議論が行われた。経営者の監視が重要であり、適切な人物を社外取締役として選ぶことが重要だと強調した。また、制度よりも適切な人材の選択が重要であるという意見も出され、日本企業における社外取締役の実効性について懸念を表明した。峰内氏は自身の経験を共有し、社外役員の積極的な関与の重要性を強調した。

- また、社外取締役の役割と責任について議論が行われ、複数の企業で社外取締役を務めることの問題点が指摘された。社外監査役の職務をより明確に定義し、制度化する必要性を強調されました。また、セブン&アイホールディングスの事例を挙げ、当該社外取締役の役割についての言及がなされ、過去の経験から社外取締役の重要性が指摘された。
- 社外取締役の役割と評価についての議論も行われ、社外取締役の自己評価レポートはあまり一般的ではないが、企業による評価は始まっているとの言及がなされた。峰内謙一は監査役と監査委員の違いについて言及し、モニタリング機能の重要性が強調された。また、監査等委員会設置会社と監査役設置会社の違いについての言及もあり、取締役会での権限や任期の違いが共有された。
- 企業価値と株価の関係についても議論が行われた。企業価値が必ずしも株価と同じではないが、多くの企業が時価総額を重視していると指摘する。財務的な利益だけでなく、社会的価値やブランド価値も企業価値の重要な要素だとの主張が行われた。またSDGsの取り組みと企業の利益の関係について、更には「監督」と「モニタリング」の違いについても議論が行われた。

ほか多くの議論が行われました。

●峰内部会員からの報告

アメリカの政治システムと最高裁判所の役割

アメリカの大統領選挙に関連して、アメリカの政治システム、特に最高裁判所の政治的な性質についての説明が行われた。峰内氏はファイナンシャルタイムスの記事を引用し、トランプ前大統領の潜在的な再選とその影響、特に「プロジェクト2025」と呼ばれる右翼シンクタンクの計画についての解説が行われ、アメリカの政治的な極端さと、共和党の一部が提案する政治体制の変化における懸念点を説明した。

アメリカの政治的二極化の根源

トランプ前大統領の政策や「プロジェクト2025」について議論し、アメリカの政治的二極化の根源が宗教に関連していると説明した。また保守派の陰謀論や「ディープステート」に対する懸念を指摘し、リベラル派のエリートたちが影の政府を形成しているという右翼の主張を紹介した。また森本アンの著書を引用し、アメリカ社会の分断の原点がリバイバリズムにあるのでは？との論点が投げかけられた。

中間層の経済的安定に関する議論

最後にアメリカと日本の株主資本主義の違いや、労働者の給与と投資の関係について説明した。

—◇◇—◇◇—◇◇—

次回の例会は10月21日、野瀬部会員が「外国人労働者と日本語学校の役割について」発表予定。また、11月11日は菱山部会員より「海外ESGの動向（仮）」を、年末12月9日には、会場をリアルにしての忘年会を予定します。皆様忘れずにスケジュールお願いいたします。

以上